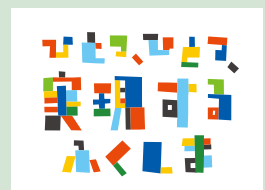


林業福島

No. **735**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



11 2025

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 目 視 鋭 く



節目の年

一般社団法人福島県造園建設業協会
会長 相良 政 博

皆様には、日頃より当協会の活動にご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年は当協会の設立五〇周年という節目の年を迎えました。昭和四九年に当時の先輩方が任意団体として設立し、その後、緑化事業の増加に対処するため、県のご指導のもと、昭和五〇年四月に会員三二社で「社団法人福島県造園建設業協会」を設立しました。また、時を同じくして、県内各方部に六支部（現在は六エリア）を設け、県内を網羅した緑化推進団体として事業展開が出来る体制を整えました。更に、平成九年には、取得した用地に協会会館を新築し、会議室（研修室）を備えた協会事業運営の拠点となりました。また、会員の技能技術向上を図るため、造園技能検定試験の予備講習会を毎年開催しており、それに加えて平成十二年からは街路樹剪定士認定研修会を開催。その間、当協会会員は、国内外の技能五輪に出場、優秀な結果を残し、福島県の技能の高さを示してまいりました。

平成二三年三月十一日、未曾有の災害に見舞われた時には、生業としての植栽ではなく伐採作業を余儀なくされ、さらには前例のない除染作業が求められました。が、福島復興を指し、会員一同団結し作業を進めてまいりました。更に、続く復興記念公園の築造や、新たな緑化事業を通して、希望の持てる緑の再構築に取り組んでまいりました。

そのような中、平成二五年には一般社団法人に移行し、会員数は現在一社となっております。

また、節目の年である今年には、一語一絵「みどりの文」を終了いたします。関係団体のご協賛をいただきながら、平成十八年から二〇年にわたり継続してまいりましたが、その間、暮らしの庭や草花を題材にした心温まる手紙、絵手紙、フォト合わせて一万通を超える作品が全国から寄せられました。心から感謝いたします。二〇回で終了しますが、「庭にはひとつの物語一枚の絵がある」ことをこれからも皆様に伝えていきたいと思っております。

設立五〇年の今、時代の変遷とともに、地球温暖化をはじめとする環境問題が叫ばれておりますが、街や公園、家庭などの緑は、その遮熱効果や二酸化炭素の吸収、人々の癒し効果などが期待できる「グリーンインフラ」であり、人々の暮らしに不可欠なものとして、ますます重要となっております。このため、当協会は、今後も暮らしの緑の創出と保全のために技術を磨き、活動し、その重要性を訴え、更に緑の価値を継承してまいります。

今後とも、初代会長からおこなってまいりました緑化関係団体皆様との情報交換をしながら邁進してまいります所存です。

《も く じ》

とびら

節目の年

一般社団法人福島県造園建設業協会

会長 相良 政 博……………1

続第2回ふくしま皆伐再造林セミナー……………2

林業研究センターだより……………3～4

第48回全国育樹祭の開催……………5

全国緑の少年団活動発表大会での活動発表とみどりの

奨励賞（国土緑化推進機構理事長賞）の表彰……………6

林業アカデミーふくしま研修日誌⑥……………7

普及指導員通信……………8

福島水源林整備事務所だより……………9

フォレストだより……………10

木の文化を育む⑧……………11

木材市況・ふくしま東西南北……………12

はなしのひろば・お知らせコーナー……………13

続第二回ふくしま皆伐再造林セミナー

「下刈り作業の省力化・低コスト化をめざして」を開催

福島県林業会議

1 はじめに

先月号（七三四号）に概要を紹介した令和七年八月二六日開催の第二回セミナーで共同研究者から発表のあった「薬剤のドローン散布」に関して、皆伐再造林の全般にわたって取り上げた第一回セミナーの内容と関連付けながら考えを深めていきたいと思っています。

2 様々な視点での考察

(1) 植生による薬効の違い

第一回セミナーでは、植栽木の周辺植生の違いによって下刈りが必要な年数が違うことを学びました。すなわち、ススキ型、落葉広葉樹型、ササ型、キイチゴ型等の四区分ごとに植栽木スギの梢端部が周辺の雑草木から抜け出る高さが異なるということです。

今回取り上げた薬剤（製品名…デゾレートAZ粒剤）の薬効について当てはめれば、ススキ型、落葉広葉樹型では、効果が期待できず、ササ型、キイチゴ型では優れた効果が見られました。

これまで見落としがちだったであろう周辺植生に留意して適切な下刈り方法あるいは薬剤使用への転換を検討することが重要なポイントである。

ることが分かりました。

また、落葉広葉樹型では効果が期待できないとはいえ、以下の点を考慮すれば実証試験により薬剤の効果を探ることは有益であろうと思います。

① スギ林の皆伐再造林の場合、アマツ林の更新や広葉樹林の拡大造林と比較すれば、格段に落葉広葉樹の発生は少ないと想像できること。

No.	試験地	面積 (ha)	樹種	植栽年数	散布日	主な萌生	薬効	被害 箇所・程度
1	長野原	3.5	カラマツ	3~4	6/13	ササ類・落木類	△	一部あり
2	大前	1.1	コナラ	2 (R5)	6/4	ササ類・シダ類	△	なし
3	東吾妻	3.6	スギ	2 (R5秋)	9/4	キイチゴ類・落木類	△	なし
2025年度								
4	下仁田	3.4	スギ	3 (R5春)	5/20・6/1	タケニグサ 草本類・キイチゴ類	△○	なし
5	西赤城山	2.2	スギ	3 (R5春)	6/4	タケニグサ 草本類・キイチゴ類	△○	一部あり
6	穴山窪	2.6	スギ	2 (R6春)	6/16	草本類・ササ類 落木類	△○	なし
7	鳥川	1.3	スギ	3 (R5春)	6/1・6/9	タケニグサ 草本類	△○	なし
8	中之条	1.1	スギ	3 (R5秋)	6/12	草本類	△○	なし
9	利根	1.8	カラマツ	2~3	6/13	タケニグサ 草本類・キイチゴ類	△○	なし
10	川場	1.7	カラマツ	4 (R4秋)	6/10・6/13	タケニグサ 草本類・キイチゴ類	△○	なし
11	宇城南麓	2.0	スギ	2 (R6冬)	6/27	ササ類	△	なし
12	黒川谷 (南赤城)	3.5	スギ	3 (R5春)	5/21	タケニグサ キイチゴ類	△○	なし

薬効：○効果あり（薬効度3~5） △効果弱（1~2） ×効果なし（0）

第2回ふくしま皆伐再造林セミナー（株カーリット資料より）

② 落葉広葉樹への効果が十分でないとしても、それに対する補足の下刈り作業しやすい涼しい時期に行うことで効果発現を期待したいこと。

③ 前項②について低コスト化が困難との反論も思慮するも、下刈りについては労働強度が極めて高いことを考慮し、多少コストアップしても省力化・軽労化を最優先とし、低コスト化は皆伐再造林全体で対処する考え方も必要になるであろうこと。

加えて、皆伐再造林一貫施業の一年目の下刈りは一般的に不要であることから、スギ植栽の場合に薬剤（製品名…デゾレートAZ粒剤）の使用は二年目からとメーカーが推奨していることも特段の支障にはならないと思われます。

(2) 植栽苗木の成長促進

第一回セミナーでは、エリートツリーを適地に植栽することが重要なポイントであることを学びました。この適地か否かの判定になる指標のひとつが、TWI（土壌水分環境）で、既存のスギの場合は五年生までの樹高成長が最大になるのはTWIが六〜七程度、エリートツリーの場合はそれより少し高く八程度です。エリートツリーの方が水分への要求度が高いことになります。適地適木に加えて適品種という見方が必要であり、MAI（平均連年生長量）と併せてTWIについても留意することが大切だと思います。

早生樹について付け加えますと、

第一回セミナーで学んだとおり、コウヨウザンなどの早生樹は造林適地が限定的で気候や水分条件が合わないければスギの成長量以下になってしまいますし、一〇または二〇年生までの材は未成熟材で強度が低いことから短伐期で収穫すると建築用材には不向きとなります。



第2回セミナーでのドローン展示

3 あとがき

第一回セミナーにおいて報告した一二〇ㄱのスギ大苗（ポット苗）植栽については、現在、肥大成長し形状比を改善しつつある状況です。また、七〇〜八〇ㄱ程度のスギ苗木植栽事例が県内で出てきています。これらが下刈り回数減少に寄与できるか、今後の成長に注目していきたいと思っています。

さらに、第二回セミナーで取り上げた薬剤のドローン散布について来年試験してみたいとの声も既に伺っています。

新しい林業に向けて様々なチャレンジが福島県内で積み上げられることを願ってやみません。

（文責…飯沼隆宏）

○はじめに

キリは成長が早く、日本では農村の換金植物として栽培されてきました。材は防湿性・音響性・耐火性・耐朽性に優れ、箆笥・下駄・指物・和楽器・フローリング・壁材などに広く利用されています。会津地域においては、約三八〇年前から栽培が始まったと言われ、現在でも栽培が行われています。桐材生産量は全国的に減少傾向にありますが、本県における令和六年の生産量は一六八・九立方メートルで全国一位となっております（農林水産省 特用林産物生産統計調査）、国産桐材供給に対する本県の貢献は大きいと言えます。一方で、産地では高齢化等の影響で栽培意欲が低下し、一時はキリの苗木を

手に入れることも難しい状況になりました。そこで当センターでは、キリ実生ポット苗の地上部を切除し根系部分のみを植栽する玉植苗（図―1）を開発し（研究期間…平成二七年（令和元年度）、会津農林事務所と協働で普及を進めてきました。玉植苗はポット苗であることからビニールハウス等の施設で集約的に管理でき（図―2）、従来の分根苗ではなく実生苗であることから遺伝的に多様で病気が広がりやすく、地上部がないため冬の野鼠・野兎害を受けにくい、根鉢が大きいため初期成長が良い（図―3）などの特徴があります。

林業研究センターだより

キリ「玉植苗」の小型化について

森林環境部 大 竹 由 起

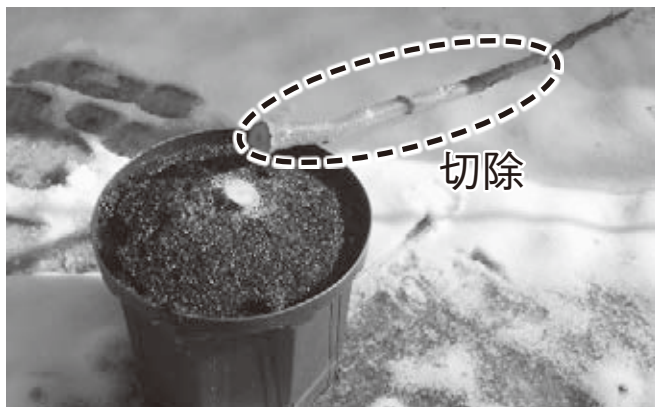


センター内のキリ林（4年生）

福島県林業研究センター



図―2 育苗の様子



図―1 玉植苗

○小型化に関わるこれまでの研究

小型化の試みはこれまでもあり、従来の外径四〇センチのポットで育苗した大型の玉植苗と、外径二二

○玉植苗の課題と小型化の検討

玉植苗の開発後、会津農林事務所森林林業部を中心としてプロジェクトチームが結成され、普及・生産体制が構築されました。普及が進む中で、開発当初の玉植苗は外径四〇センチのポットで育苗する大型の苗木であったことから、出荷時の梱包や定植時の運搬等の労務負担が大きいことが課題として挙がりました。



図―3 定植1年後の幹の様子



図－4 試験に利用したポット
左：外径40cm、右：外径30cm

ポットのポットで育苗した玉植苗で比較が行われました。その結果、定植一年後の平均樹高は大型の玉植苗の方が良好となることが確認されています。外径三〇センチ以上四〇センチ未満のポットの利用については検討が進んでいなかったことから、今回は外径三〇センチのポットの利用を検討しました。

○試験方法

試験は、福島県林業研究センター内（福島県郡山市安積町成田字西島



図－5 試験地の様子（2024／7／1撮影）

坂一）で実施し、外径四〇センチのポット（図－4左）を利用した大型の玉植苗と外径三〇センチのポット（図－4右）を利用した玉植苗を同時に定植し（図－5）、一年後の樹高を確認しました。なお、従来の大型の玉植苗の根鉢サイズは一八リットル、外径三〇センチのポットを利用した玉植苗の根鉢サイズは八リットルです。また、苗木の重さを「ポットの重さ＋鉢底石の重さ＋土の重さ」と仮定した場合、それぞれの程度の重さになるか確認しました。

○結果

試験の結果、外径三〇センチのポットを利用した玉植苗は、従来の大型の玉植苗と比べて定植一年後の樹高は劣らず（図－6、7）、既報と今回の結果から、外径三〇センチまでのポットで作成した根鉢サイズ八リットル程度の玉植苗であれば、従来の大型の玉植苗と同等の初期成長が期待できることが分かりました。また、苗木の重さは従来の大型の玉植苗は二二キログラムであったのに対し、外径三〇センチのポットで作成した玉植苗は九・四キログラムで、大幅に軽くなることも分かりました。なお、ポットの購入費用についても一つあたり数千円安くなります。この結果を生産現場へ普及することで、出荷時の梱包や定植時運搬等の労務負担が軽減され、桐材資源量確保にも繋がると考えています。

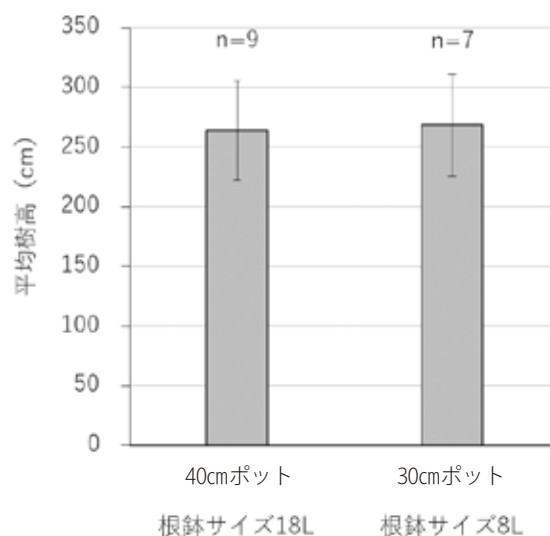
○謝辞

玉植苗に関する研究の実施にあたっては、会津

里山森林資源育成研究会様、年樹株式会社様、斎藤桐材店様、佐久間建設工業株式会社様、福島県立会津農林高等学校様に調査地の提供等多なるご協力をいただきました。深く御礼申し上げます。



図－7 定植1年後の様子
※左：40cmポット（根鉢サイズ18L）
右：30cmポット（根鉢サイズ8L）



図－6 定植1年後の平均樹高

第四八回全国育樹祭の開催

福島県森林計画課

○第四八回全国育樹祭

十月五日(日)に、宮城県利府町にあるセキスイハイムスーパーアリーナで第四八回全国育樹祭が「次世代へみどりのかけ橋 森づくり」を大会テーマに開催されました。

全国育樹祭は、継続して森を育てることの大切さを普及啓発するため、全国植樹祭を開催したこのある都道府県において、毎年秋季に行われている国民的な緑の祭典です。宮城県では、昭和三〇年と平成九年に全国植樹祭を実施しており、全国育樹祭の開催は今回が初めてとなります。

プロローグは宮城県泉館山高等学校吹奏楽部の演奏により開始され、参加者を美しい音色で歓迎しました。次に、声優の山寺宏一さんがナレーションを務める宮城県紹介映像が放映され、県内の観光地やご当地グルメなどが紹介されました。また、歓迎アトラクションでは、仙台育英学園高等学校書道部による迫力ある書道パフォーマンスが行われ、ダイ

ナミツクな筆裁きが披露されました。

プロローグの最後には、前日に行われたお手入れ行事の映像が放映され、全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を秋篠宮皇嗣同妃両殿下がお手入れされる様子が紹介されました。

式典では、秋篠宮皇嗣殿下のおことばをはじめ、緑化功労者の表彰や緑の少年団活動発表等が行われました。

メインテーマアトラクションでは、「森と海と人の物語」と題し、俳優の前原滉さんらが出演し、宮城県の海岸防災林や森林・林業の歴史に触れながら、森と海を守る人々の活動と共に、東日本大震災の壊滅的な被害を受けた海岸防災林の復旧の様子の映像が紹介され、震災からの復興を遂げた姿や再生する森の力強さを見て感じる事ができました。また、東日本大震災を乗り越え、今と未来をつな

いでいく人々の想いを出演者全員で歌う「花は咲く」の曲で表現されました。

エンディングには仙台を拠点に国内外で活躍するロックバンドのMONKEY MAJIKによるライブパフォーマンスが行われ、「東北笑顔プロジェクト」のインフォマーシャルCMソングの「Headlight」をはじめとしたヒット曲を披露し、会場を盛り上げました。

また、会場のおもてなし広場には、森林鉄道のジオラマ展示や仙台材業者や林業関係企業の出展ブース

も設置され、子どもから大人まで森林・林業に親しむことのできる場となっておりました。

全国育樹祭に参加して、改めて私たち一人一人が「森林を守り育てる」という意識を持つことの大切さを確認できました。森林は、水を育み、災害を防ぎ、豊かな生態系を支えるなど、私たちの暮らしに欠かせません。身近な自然を大切にすることも、立派な育樹の第一歩です。「みどり」を未来へつなぐために、みなさんも今できることから始めてみませんか。



秋篠宮皇嗣殿下のおことば



メインテーマアトラクション

全国緑の少年団活動発表大会での活動発表と みどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)の表彰

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

全国緑の少年団活動発表大会は、全国育樹祭の併催行事として、全国からみどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)に選ばれた緑の少年団五団が一同に集い、日頃の取組や活動成果について発表を行い、少年団相互の交流と活動の促進を図るため毎年開催されています。今年は、第四八回全国育樹祭みやぎ二〇二五の併催行事として、十月四日(土)に宮城県の白石市文化体育活動センター・ホワイトキューブにおいて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご臨席のもと開催され、地元の宮城県、北海道、福島県、岐阜県、愛媛県の五団の緑の少年団が参加しました。福島県で同賞の受賞は二年ぶりで西山小学校緑の少年団(柳津町)は今回初めての受賞です。

活動発表では、各団二〜三名の団員が登壇し、パワーポイントを使つての発表が行われ、西山小学校緑の少年団は団員三名が、主に学校の花壇づくりをはじめ、地域の方々の支援と協力を得て、町内の道路沿いに

ある花壇への植栽活動や森林環境学習に係る活動を行っていることについて発表しました。花壇づくりの「ロードフラワー」活動では、団員が整地や苗づくりなどの準備段階から熱心に取り組むとともに、中学生や地域の方々と協力して植栽を行っていること、また森林環境学習では、町役場やもりの案内人の方々の協力のもと、博士山でのブナ林の探索や学校の裏山探査、樹木伐採の見学、水棲生物の調査、木工クラフトなど、一年間を通じて様々な学習活動に取り組んでいることについて、発表時間の七分間を目一杯使って紹介しました。

西山小学校緑の少年団に限らず、どの緑の少年団も少年団の活動をするにあたり、地域の方々と関わりをもつて活動を行っていることがよく分かりました。

両殿下は、少年団の活動発表毎に拍手を送られ、ご退席時には発表者にお声がけされました。

活動発表後の講評の中で翌日の全

国育樹祭式典行事の各少年団の役割について、発表があり、活動発表は大和町吉田みどりの少年団、全国育樹祭大会会長賞の代表受領は清見中学校緑化少年団、緑の贈呈(苗木)は活動発表団を除く四団が選ばれ、最後にみどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)及び緑の少年団育成功労賞の表彰が行われました。同大会は、活動発表の他にもオルガンスト後藤香織氏によるパイプオルガン演奏のオープニングアトラクションや、eco実験パフォーマンス、ま先生による「SDGsサイエンスショー(SDGsの実験やギネス世界記録の大型空気砲の実演など)」の特別公演など参加者が楽しめる内容でした。

「たくさんさんの人の前で発表するのは初めてだったので、とてもドキどきしました。練習通りに発表できたのでよかったです。秋篠宮皇嗣同妃両殿下からお声がけいただいたときが一番緊張しました。この二日間、はばくちちにとつてとても貴重な体験となりました。」

活動発表団・みどりの奨励賞
(国土緑化推進機構理事長賞)
上札内緑の少年団(北海道)
大和町吉田みどりの少年団(宮城県)
西山小学校緑の少年団(福島県)
清見中学校緑化少年団(岐阜県)
朝倉緑の少年団(愛媛県)

緑の少年団育成功労賞
〔団体の部〕
神山椎茸生産販売協同組合(徳島県)
〔個人の部〕 佐々木勝義(宮城県)



活動発表の様子



みどりの奨励賞の表彰



記念撮影(全体)

林業アカデミーふくしま研修日誌⑥



○九月の研修内容

九月は架線集材の資格取得が始まり、はじめに約二週間にも及ぶ学科で基礎知識を学びました。最後の週には、十月にかけての九日間のインターンシップが始まりました。

●森林施業「技術」の習得 「安全の基礎」

林内作業でのリスクアセスメントやヒヤリハット活動について学びました。

「林内路網」「高性能林業機械運転技術」

十一月以降の現場実習を目指し、二班に分かれ、バックホウとグラップル、フォワーダの操作練習を行いました。

「チェーンソー伐木造材技術」

今月は現場で伐倒実習を行いました。傾斜地での伐倒は初めてだったため、伐倒方向と斜面の向きにより立ち位置が限定されてしまい、また、足場も不安定ということもあり、想像通りにできず、たくさん課題が残る伐倒になりました。

●資格の取得

「架線集材」

林業架線作業主任者免許の規程に定められた講習として、はじめの約二週間は学科で林業架線の基礎知識や力学を学びました。十月末からは、林内に架線を張るところから集材装置の運転までを行う研修が始まります。

「ロープ高所作業技術」

高所作業を行うために必要な、ロープ高所作業特別教育を受講しました。

●インターンシップの実施等

「社会人教養（プレゼンテーションスキル）」

相手に伝える、説明するスキルを向上させることを目的として、論理的な話し方や資料の作り方などを学びました。

「就職体験（インターンシップ）」

九月末から約二週間、県内各地の森林組合及び事業体にご協力いただき、二回目のインターンシップを行いました。就職先の決定を間近に控えている中で、実際の現場での作業

を体験し、就職した際に自分に求められていることや、自分のレベルを知る良い機会になりました。

○研修生の感想

佐藤尚也（さとう なおや）

林業アカデミーふくしまに入塾し半年が経過します。一回目のインターンシップを終え、自分自身の課題と向き合いながら毎日のアカデミーでの生活を送っています。

九月上旬には、林業架線集材について学びました。今回は十月末に行う架線集材の実習に向けて、重要な知識を模型などを用いて学びました。架線を張る柱などにはとても

ない力が掛かるため、一つのミスで事故故に繋がってしまいます。また、模型を使ってどのような動きをするのかを見ると、集材機を操作する人はとても繊細な操作が必要となるため、山側で荷

掛けをする人との無線でのやり取りも正確なものではないといけない

事も知ることができました。来月の実習では、今回



伐倒の様子



模型を使って架線集材の動きを理解

学んだ事を最大限に活用して安全な実習となるように準備をしていきたいと思っています。

九月中旬のチェーンソー伐木造材技術では、実際に現場をお借りして立木の伐倒を行いました。これまでアカデミー場内で伐倒した時よりも格段に難しい場所での伐倒だったため、チェーンソーの操作がいかに重要となってくるかを再度確認できました。また必ずしも全部の木を同じ方向に倒せるとは限らないので、クサビやフェリングレバーを使うだけでなくつるの幅などで木をコントロールする技術も必要であると感じました。

アカデミーでの生活も間もなく半年が過ぎようとしています。一日一日を充実したものとし、学んだことを仲間とともに実践していきたいです。

いわき地区における花粉の少ないスギ苗木の普及に向けた取組について

福島県いわき農林事務所 林業普及指導員 二 瓶 郁 子

1 はじめに

スギ花粉症の患者数は国民の約4割と推計されるなど、社会的に大きな問題となっており、国は令和15年までに花粉の少ないスギ苗木全体の9割以上を花粉の少ない品種とし、従来品種のスギ人工林を約2割減少させる、との方針を示しています。

福島県においても、「花粉の少ない森林づくり事業」により、花粉の少ない苗木による低コスト造林のモデル的な実施への補助や花粉症対策品種の苗木の安定供給に向けた取組を進めています。

今回は、いわき市管内における当該事業のメニューの1つである「花粉の少ない森林づくり推進事業」の取組について紹介します。

2 取組内容

「花粉の少ない森林づくり推進事業」は、住民参加型の森林づくり活動に対し花粉の少ないスギの苗木を無償配布し、苗木の普及を図るものです。市内に大型製材工場を整備している株式会社木環^{こわもり}の杜に事業を紹介したところ、「是非植栽してみたい。」との意向が示され、植栽場所について常磐湯ノ岳生産森林組合に打診したところ所有地への植栽について快諾をいただき、取り組みが実現しました。

当事務所では、土地所有者である生産森林組合と打合せを重ね、一般的なスギに比べ花粉の量が1%未満の「少花粉苗」(200本)のほか、成長においても優れた形質を持ち花粉の量が半分以下の「特定苗」(200本)、そして苗木の成長の違いを比較するための「普通苗」(24本)の3種類の苗木を2.3m間隔(1,890本/ha)で植栽することとなりました。また、現地確認の結果、林地には大小の石礫が多く、痩せた土地であり湧水も見られたことから、作業のしやすさや苗木の成長を考慮し、植栽場所を決めていきました。

5月17日、株式会社木環^{こわもり}の杜の社員や生産森林組合の組合員等約50名の参加のもと「いわきの杜づくり植樹祭」が開催されました。当農林事務所の普及指導員が苗木の説明や植栽方法の指導を行い、参加者は丁寧に植樹を行いました。あいにくの雨模様でしたが、事前準備も功を奏し、準備した424本の苗木を全て植え付けることができました。

3 今後の展開

植え付けた苗木は、生産森林組合とNPO法人いわきの森に親しむ会が継続して手入れを行っています。9月下旬に苗木の生育状況を確認したところ、特定苗や少花粉苗は、普通苗より成長がよい傾向が見られました。

当事務所といたしましては、花粉の少ないスギ苗木や当該植栽地の状況についての情報発信を行いながら、引き続き、花粉の少ない苗木の普及と主伐再造林の取組を進めてまいります。



植栽指導の様子



植樹の様子



特定苗の様子

福島水源林整備事務所だより

「森林整備センターにおける取組」 ツキノワグマの生態、人的被害と対策について

国立研究開発法人
森林研究・整備機構森林整備センター
福島水源林整備事務所

森林整備センター福島水源林整備事務所は、関東整備局の管内にあり、関東整備局は福島以外に栃木県、群馬県、新潟県、山梨県、静岡県に水源林整備事務所を有しています。その関東整備局主催で林業における様々な問題についてや労働安全衛生への取組等について、林業関係者に参集していただき、「業務検討会」を開催しています。その都度、水源林整備事務所の業務系職員は参加しています。今回は昨年十月二三日・二五日までの三日間群馬県沼田市及び高山村で参加者約八〇名で開催された業務検討会の複数のテーマの一つである「ツキノワグマの生態、人的被害と対策について」紹介させていただきます。

世界的に見てツキノワグマは絶滅の危険性の高い種であり、日本では本州と四国に生息（九州は絶滅しています）。体格の大きいオスほど、クマ社会では社会的地位が高いと言われています。年間にオスで一〇キロメートル以上メスで六キロメートル以上の距離移動し、直線距離で五〇キロメートル（例：福島市から須賀川市の距離）移動したケースもあるとのことでした。七月中旬から九月中旬のクマの食べ物最も不足する時期にクマが人里に近づく傾向が多く、ブナの実の結実が不作の年は更に人里に近づくクマが多いようです。今年はまさにその年で、連日ニュースになっています。また、例年以上に春先からクマとの遭遇、被害が報道され、これからの季節も更に遭遇、被害が懸念されます。

キノワグマの被害で四〇％近くが顔や頭に被害を受けていることから、対策としてヘルメットが有効とのことでした。

森林整備センターでは全国で昭和三六年度から現在までに現場の事業実施中に一人の死者と二名の負傷者をだしています。山に入るときはクマとの遭遇をさけるために、存在を知らせる手段として、爆竹をならす、鈴の携帯、笛を吹く等を行っています。最近蚊取り線香も有効との話を聞きました。万が一の遭遇時にはクマスプレーの使用（クマとの距離が三〜一二メートル・製品によって異なる）に出会ったときには背中をむけずクマの目を見てゆっくり後ずさりする（決して走らない。）等の対応策を常に意識し、人的被害が起きないように気を付けることを再認識しました。



講演会の様子



親子クマとの遭遇

現在福島県ではツキノワグマ出没警報（会津、中通り）、注意報（浜通り）が発令され、今年度五件の人的被害が発生しています（十月七日現在）。山仕事以外にもキノコ採り、紅葉狩りなど山に入る機会が多いと思われます。また、山の麓でも被害が発生しています。会わない対策を講じツキノワグマからの被害を未然に防ぐ意識、行動を痛切に感じています。

以上講演等から学んだ内容の一部になりますが、皆様も山に入るときは万全のクマ対策を講じて、山とかわっていたいただければと思います。（福島県生活環境部自然保護課のホームページで県内の様々なクマの情報発信しています。対策等の参考にして下さい。）

団体のページ

フォレストだより

「あだたらの森の景色」

公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団

この時期森の中を歩いていると、とても鮮やかな赤い色をした小さな実をたくさんつけた木を見かけることがあります。この木をよく観察すると、赤い実の部分（果皮（かひ））には表面に凹凸がたくさんあり、実が割れた中から黒いつやつやした種が出ているものもあります。木の枝にはいかにも痛そうなたゲが対になつてたくさん生えており、樹皮にもボコボコとこぶがたくさんついています。葉をもむと、ミカンのようなとても良い香りがします。さて皆さんは何の木だ分かりますか。答えは「サンショウ」です。

サンショウと聞くと皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。一番に思い浮かぶのは、きつとおいしい「うなぎ」ではないでしょうか。うなぎにかけて食べる「山椒」は、サンショウの果皮を細かく砕いたものを使用しています。とても良い香りがして、食欲が増しますね。また、若いときのサンショウの葉は香りが良いた

め、「木の芽」として様々な料理に添えられます。さらに、赤くなる前の青い時期の実がピリリとした辛味があり「ちりめん山椒」としても食べられています。

このように、良い香りとピリリとした辛味で、私たち人間の食生活にもたびたび登場するサンショウですが、実は森の生き物たちにも人気があります。

「サンショウクイ」という、いか



サンショウの実

にもサンショウが大好きそうな名前前の野鳥がいます。しかし、この鳥は、サンショウを食べません。この鳥はサンショウの実が熟す十月下旬〜十一月には福島県から暖かい土地へ渡ってしまう夏鳥なのです。この鳥の鳴き声が「ピリリ」、「ピリリ」などと聞こえるため、「山椒は小粒でぴりりと辛い」ということわざから山椒喰（サンショウクイ）と名付けられたようです。実際にサンショウを食べる鳥は、メジロやシジュウカラなどの鳥です。これらの鳥は、サンショウの実を遠くに運び、糞として排出することで、サンショウの分布拡大を手助けしています。

一方でサンショウにとって厄介な生き物もいます。それが、「ナミアゲハ」という蝶です。ナミアゲハは幼虫の頃に決まった種類の植物を食べる事が知られています（食草）。ナミアゲハの食草はミカン科です。サンショウもミカン科の植物のため、幼虫に食べられてしまうのです。人間も好んで食べるものですが、チョウも大好きなのかもしれません。葉っぱを食べられてしまうサンショウにとっては災難です。

私たち散策やキャンプ、温泉など様々な形で森林を利用する時、目に映る森林は一樣に見えるかもしれませんが、一本、一羽、一匹の生き物がお互いに複雑にかかわり合っている結果がこの景色を生み出していることを忘れずに利用したいものです。



食生活に登場するサンショウ



ナミアゲハ

木の文化を育む⑧

木の文化をつなぐ精緻な技

組子細工が伝える手仕事の美と継承 (藤木工所)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

木を削り、組み、形をつくる。日本の建具づくりには、長い歳月をかけて育まれてきた精緻な技が息づいています。なかでも「組子細工」は、釘を使わず木と木を緻密に組み合わせ、美しい幾何学模様を生み出す伝統技法として知られています。

機械化が進む今の時代においても、手仕事の温もりと受け継がれた技は、機械では再現できない価値を生み出しています。

○親子二代で受け継ぐ「美と技」

昭和四十二年に創業した藤木工所(郡山市)は、半世紀以上にわたり建具や家具の製作を行ってきました。創業者の遠藤清さんは、十五歳の頃から建具職人として修行を積み、美しさと機能を両立した建具づくりを追求してきました。障子や格子戸、欄間などの伝統的な建具はもちろん、現代の住宅にも調和する木製家具や内装部材を手がけ、木の特性を生か

した丁寧なもののづくりを大切にしています。清さんは、組子細工の名手

としても知られ、特に「三ツ組手亀甲」の製作において卓越した技能を持ちます。その優れたデザイン性と技術力は全国的にも高く評価され、全国建具展示会での受賞歴を誇ります。令和元年には卓越技能者(現代の名工)に選ばれ、翌令和二年には政府より黄綬褒章を受章しました。

現在は、長男の勝徳さんもその志と技能を受け継ぎ、建具職人として次代の建具づくりを担っています。

勝徳さんは福島県建具・木工組合連合会技能士会の会長を務め、厚生労働省が推進する「ものづくりマイスター制度」に基づく木工体験事業にも積極的に取り組んでいます。

○技能継承への取り組み

ものづくりマイスター制度は、若者のものづくり離れが進むなか、優れた技能と経験をもつ職人を講師として学校や地域施設に派遣し、体験

学習を通じて技能の大切さやものづくりの楽しさを伝える取り組みです。福島県では、福島県職業能力開発協会(福島県技能振興コーナー)が厚生労働省からの委託を受けて運営しています。藤木工所もこの活動に協力し、勝徳さんは講師の一人として県内各地の学校や施設に出向き、組子細工やかんながけなどの実演を行っています。

○ものづくり体験教室

県内各地で開催される「ものづくり体験教室」では、組子細工やかんながけの実演を通して、小学生をはじめ幅広い世代に、手仕事による美しさや意匠の魅力を伝え、その価値を広く発信しています。

児童たちは、自分の手で木を組み合わせて模様を完成させる作業を通して、木の香りや手触り、職人の技の緻密さを実感します。木は生きた素材であり、その扱い方一つで表情が変わることを、五感を通して学びます。

○まとめ

こうした活動は、すぐに職人を育てるものではありませんが、木工や建具づくりを身近に感じ、地域の文化や技術への理解を深める場となっています。伝統的な手仕事の魅力を経験を通じて伝えることで、木と人

との関わりを未来へと受け継いでいく。木の特性を正確に見極め、素材の特性を生かして加工を施すその技は、長年の経験と確かな技術に裏づけられた職人の知恵です。こうした伝統の技を守りながら、その美しさと手仕事の価値を次代へと繋いでゆくことが、地域のものづくり文化を支え、未来へと受け継ぐ力となっています。



組子細工の行灯(製作:藤木工所)



「ものづくり体験教室」で指導する勝徳さん

県森連いわき共販における木材市況（10月分）

令和7年11月1日
福島県森林組合連合会

（単位：㎡当り千円）

樹 種	素 材				摘 要
	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	
ス ギ	4.00	9 下	12.0	11.5	
		10～13	14.0	13.5	
		24上	13.9	12.0	
	3.65	16上			
		24上	12.0	10.3	
	3.00	9 下	11.5	9.5	
		10～13	10.5	10.3	
		14～16	10.7	9.3	
		18～20	13.2	11.8	
		22上	14.1	12.5	
ヒノキ	4.00	10～13	9.0	8.8	
		14～16	18.1	17.0	
		18～20	18.1	17.0	
		22上	15.0	14.0	
	3.00	16～20	16.1	13.5	
アカマツ	4.80	18～22			
	4.00	18～22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	
	3.00	16～22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	

樹 種	素 材				摘 要
	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	
カラマツ	4.00	12下			
		13～14			
		16上			
ク リ	4.00	16上	14.0	13.0	
	3.00	16上	13.0	12.0	
モ ミ	4.00	20上			

市況概要と市況展望	11月の共販日
販売量は2,763㎡（前年同月比85%）でした。 スギ3m柱材、中目材とも引き合いあり、活発に取り引きされました。スギ4.00m材も同様に好調です。先行きの状況が続くと思われます。 スギ3m、4m小径材は入荷がかなり少ない状況です。造材方よろしくお願い致します。	7日(金) 17日(月) 27日(木)

行 事 と お 知 ら せ
県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。 福島県森林組合連合会 木材市況 検索

県南地方の保安林は、民有林面積の九・五割を占めており、面積は四、七〇〇ha、割合は土砂流出防備保安林が全体の七五・九割を占めています。

管内で最も古い保安林は、明治三〇年の旧森林法施行前から禁伐林等とされていた、いわゆる従来保安林であり、白河市中心部に存在しています。

一方、保安林の指定目的を達成するために国や都道府県が実施する治山事業も、記録では大正九年に荒廃林地復旧事業により石堤工等が施工されました。

その後も県南地方では様々な災害が発生し、近年では平成十年八月の豪雨災害や平成二三年三月の東日本大震災によって人身被害を伴う土砂災害が発生し、直近では令和元年東日本台風による被害が発生しています。

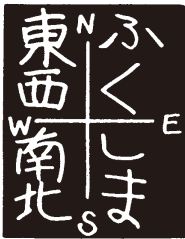
このような災害によって荒廃した溪流や山腹を森林に復



令和4年度から令和6年度に整備した南沢地区（矢祭町）

旧するため治山事業は大きな役割を果たしており、昨年度は矢祭町東館地区において令和四年度から整備してきた治山施設（県営）事業南沢地区が完了しました。

今後も県民の生活の安全・安心のため保安林の整備と治山事業に取り組んでまいります。



県南地方の保安林と治山事業

福島県県南農林事務所 彌勒地 浩 太

表紙の写真



「目視鋭く」

第22回ふくしま森林・林業写真コンクール
優秀賞（県森林・林業・緑化協会会長賞）
受賞者 田中 剛さん（伊達市）
撮影場所：赤坂の里森林公園
コメント：伊達市林業フェスタの
1コマより

発行
人

飯沼 隆
陽光社印刷株式会社
（定価 一〇〇円）

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

はなしの
ひろば

ひとつつ ひとつつ

先月、ノーベル生理学・医学賞を受賞された坂口志文大阪大特任教授は、受賞の記者会見で座右の銘を聞かれ「四字熟語のような信念はなく、ひとつひとつ」と答えられた。その答えが、とても心に響き、深く印象に残った。ひとつ、ひとつ好奇心をもちながらも丁寧に研究を進めてこられた結果なのだろう。

晩秋に見る風景も、ひとつ、ひとつ終わりに近づいていく。十一月の小春日和に枯草の中から聞こえてくる虫の音は「忘れ音」といい、その忘れ音もコオロギの終鳴も近い。今はもう枯れ色だが、立秋の頃から、スキもいろんな風の形をみせてきた。

晩秋の月も夜の冷気を含んでなお美しい。この月明かり、物が見える最低と最高をあわせもつ丁度いい明るさである。暗すぎ明るすぎである。落葉した枝の隙間から月を眺めると、月明かりは、見えなくていいものは消し去り、見える景色の芯だけを炙りだしている。そこには、落葉する前に、葉の養分を枝や幹に移し、春に備える裸木の人知れぬ生命力を炙りだしているようだ。葉を落とした枝は、天に向け静かに伸びやかである。落ちた葉もいちまい、いちまい折り重なって大地に還り、樹木の元を保護し、やがて腐って肥料となる。それもまた自然の生きる循環である。

秋の風情もひとつ、ひとつ終わっていくが、時の巡りで、また、ひとつ、ひとつ季節の風情は始まっていく。そんな巡りの中で、今年も残すところ、あとひと月となった。

第一五〇話（都）

お知らせコーナー

令和7年度ふくしまの未来を育む 森と住まいのポイント事業 の申請を受け付けています。 先着順

福島県産木材や森林認証材を使用して住宅を建設（新築・増改築・購入）する建築主に、県の登録商品と交換できるポイント（1ポイント1円相当）を交付します。

森林認証材とは

森林認証制度に基づき、独立した第三者機関により適切な森林経営が行われていると認証された、県内の森林から生産された木材です。持続可能な森林経営に貢献する環境・社会・経済に優しい木材です。

最大60万円分相当のポイントをプレゼント

福島県産木材を規定量 使用するとプレゼント！	➡ 20～50万ポイント
さらに森林認証材を 2分の1以上使用すると	➡ 10万ポイントプラス

〈申請の期間〉 令和7年7月1日（火）から令和8年2月20日（金）まで

〈交換商品〉 ○福島県産品（農林水産品・加工食品・木材製品・工芸品・その他）
○商品券（全国型・地域型）

問い合わせ
申請窓口

福島県木材協同組合連合会 TEL 024-523-3307

詳しくはホームページ

福島県木連

検索

(<https://www.fmokuren.jp/>)をご覧ください



備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たもち

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

林地残材用アタッチメント
グラップルフォーク

GS-90LJF/LJFV

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

- ・フォークが大きく開き、木質バイオマス生産現場での端材の集積に威力を発揮
- ・不要な石を効率良く振るい落とす、格子状のフォーク型トング
- ・手元のノブスイッチだけでグラップルの各操作が簡単・楽に可能

林地残材の集積に威力を発揮するフォーク型特殊グラップル

※本機は林地残材集積用です。掘削、地盤作業には使用しないでください

For the future with forest



イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目16-6

TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW

SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1